

平成30年2月2日
水管理・国土保全局防災課
道路局 国道・防災課
気 象 庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

北日本と東日本・西日本の日本海側を中心に、来週にかけて断続的に雪が降り、降雪量がかなり多くなって大雪となるおそれがあります。太平洋側でも日本海側からの雪雲が流れ込みやすい地域では、山地を中心に大雪となり、普段雪の少ない平野部でも積雪となるところがある見込みです。

大雪による立ち往生等に警戒が必要です。

不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。

大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

最新の気象情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いいたします。

別添もご参照ください

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

防災企画官 田中 克直 (内線35762)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室

室長 太原 芳彦 (内線3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(過去の大雪における被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室

企画専門官 福本仁志 (内線37812)

課長補佐 福崎昌博 (内線37662)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

大雪に対する国土交通省緊急発表 平成30年2月2日

北日本と東日本・西日本の日本海側を中心に、来週にかけて断続的に雪が降り、降雪量がかなり多くなって大雪となるおそれがあります。太平洋側でも日本海側からの雪雲が流れ込みやすい地域では、山地を中心に大雪となり、普段雪の少ない平野部でも積雪となるところがある見込みです。

大雪による立ち往生等に警戒が必要です。

不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。

大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

最新の気象情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いいたします。

【1. 今後の気象の見通し】 2日14時30分時点

平成30年2月3日以降の大雪

<大雪の予想>

大雪のおそれがある期間						
	3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)	7日(水)	備考
北日本	←→					大雪は、 続くおそれ も
東日本 (日本海側を中心)		←→				
西日本 (日本海側を中心)			←→			

←→ : 警報級の大雪の予想される期間

大雪、猛ふぶきや吹きだまり、路面の凍結による交通障害に厳重に警戒。低温や水道の凍結、なだれなどに注意。

詳細な気象情報については、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) をご覧下さい。

【2. 過去の大雪における被災事例】

平成29年1月22日から平成29年1月25日にかけての大雪

<大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約600台>

平成29年1月22日から平成29年1月24日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置になり、特に23日から24日は上空に強い寒気が流れ込みました。この影響で、山陰や近畿北部では、22日から24日にかけての累積降雪量が100センチを超えるなど、西日本から北日本の日本海側を中心に大雪となりました。

米子自動車道や鳥取自動車道等で、合計約600台の大規模な立ち往生が発生しました。車両の移動および通行止め解除に約2日を要しました。



鳥取自動車道での立ち往生発生状況
平成29年1月25日(水)

【3. 整備局など現場の対応状況】

各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。